



宝永小だより

No.4

福井市宝永小学校

令和7年6月3日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

令和7年度、こんな宝永小を目指します！

本校では、今年度のスクールプランを下記のように作成しました（本校ホームページにも掲載）。本校の教育目標「ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～」を掲げ、日々の教育活動を進めていきます。

4月当初に、全教職員で本校の「強み」と「弱み」を洗い出し、福井市教育委員会指定の6つの取組の中から、本校では本年度も「わかる授業づくり」と「居場所づくり・絆づくり」をつなげて、重点的に取り組むこととしました。また、本校の研究主題「自ら考動し、学び合う子を目指して ～主体的・対話的な学びを通して自己決定できる力の育成～」は2年次を迎え、子どもたちが自己決定する場を様々な学習で設定すると共に、子どもたちが自己決定に至った根拠や理由を他者へ語ることができるようを目指したいと思っています。さらに、昨年度から取り組み始めた「ポジティブ教育」を、福井市宝永小学校用のプログラムに組み直して、授業実践を推進していく予定です。子どもたちには、新しい時代をたくましく生き抜く力や逆境に負けないしなやかな心を身に付けてほしいと考えています。



「地域を活用した学習・活動の工夫」では、宝永地区ならではの文化・歴史や人 <「強み」と「弱み」の洗い出し> 材を積極的に活用し、地域の魅力を理解する探究活動を進めていきます。そして、地域に誇りと愛情をもち、地域に貢献できる子を育成します。「望ましい生活習慣の確立」や「家庭・地域との協働体制の構築」も合わせて取り組み、より一層の教育効果を発揮できるよう、今後とも保護者や地域の皆様とともに教育活動に努めて参ります。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

令和7年度 福井市宝永小学校 スクールプラン			
福井市学校教育目標 郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成 学校教育方針 学びをつなぐ・未来につなげる ～「つながる」を大切にしたい学校づくり～		校訓 源泉 「源泉混々として屋敷をおかす」という孟子の言葉を書いた福井藩16代藩主 松平春嶽の書に由来する。	
本校児童の強み ・異面で、指示されたことには一生懸命に取り組む。 ・学年を超えて仲良く交流できる。 ・多くは落ちついて学習し、明るく声で教える。 本校児童の弱み ・打たれ弱く、挫折を乗り越えることが苦手とする。 ・自分の力で問題に対応したり、問題を解決したりしようとする気持ちが足りない。 ・自分の思いや考えを言葉で表出することが難しい。		保護者・地域・教職員の強み ・歴史と伝統のある学校である。 ・史跡や文化・公共施設、古くからの商業地を有し、様々な学習素材を活用できる。 ・地域の人材が豊富であるとともに、地域や保護者の学校教育活動への理解度が高く、協力的である。 ・教職員間の雰囲気は温かく、お互いが気軽に話したり、相談したりできる。	
教育目標 ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～		保護者・地域・教職員の願い ・新しい時代をたくましく生き抜く力を身に付けてほしい。 ・地域に誇りと愛情をもち、地域に貢献できる子になってほしい。 ・自分で考え、行動できる子になってほしい。	
研究主題 自ら考動し、学び合う子を目指して ～主体的・対話的な学びを通して自己決定できる力の育成～		重点目標	
確かな学力の向上 進んで学び合える子	豊かな心の育成 協力し合える子	健やかな心と体の育成 心と体を鍛える子	家庭・地域との連携 ふるさとを大切にする子
わかる授業づくり ◎確かな知識や豊富な経験の獲得 ・基礎基本の定着 ・実体験を伴う学習の充実 ◎主体的・対話的で深い学びの実現 ・自己決定できる場の設定 ・思いや考えがにつながる場の設定と工夫 ◎課題探究に向けての学習環境づくり ・ICTの活用 ・読書活動の推進 ◎教科等横断的な視点での授業づくり ◎教職員の自己研鑽と協働体制 ・10参観による教職員の学び合い	居場所づくり・絆づくり ◎ポジティブ教育の推進 ・社会性の育成 ・認め合い、支え合う学級づくり ・逆境に負けないしなやかな心の育成 ◎思いやりと感謝の心の醸成 ・人権教育を含めた道德教育の充実 ・にこフレ（縦割り）活動の充実 ・「思いやり清掃」の推進 ・「ありがとう」掲示板の設置と活用 ◎教職員による児童理解と支援の充実 ・いじめを見逃ごさない生徒指導 ・規律ある生活態度の定着 ・規範意識や自己肯定感の涵養	心づくり・体づくり ◎望ましい生活習慣の確立 ・食育と健康教育の推進 ・早寝、早起き、朝ごはんの推進 ・挨拶運動の推進 ・スマートールの定着 ◎自己の健康・体力の向上 ・運動習慣の確立と推進 ・自己管理能力を高める保健指導 ◎防災意識や危機管理能力の高揚 ・登下校の安全確保と安全教育の充実 ・計画的に実施する避難訓練の充実	家庭・地域や中学校区との連携 ◎地域を活用した学習・活動の工夫 ・地域の資源や人材の積極的活用 ・将来の夢や生き方について考えるキャリア教育活動の推進 ◎家庭・地域との協働体制の構築 ・関係団体との協働事業の推進 （学校ボランティア・見守り隊） ・情報発信による子どもの成長の共有 （学校公開・学校だより・学年だより・HP） ◎園小連携の継続と移行支援の充実
・（児）学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて自分の考えを表現したり広めたりできている 90%以上 ・（児）授業中、分かる喜びや、できる楽しさを感じられる 95%以上 ・（教）全教育活動で自己決定する場を多く設定し児童が学年相応の表現力を身に付けるように工夫している 95%以上	・（児）学校が楽しい 95%以上 ・（児）みんなで何かをするのは楽しい 95%以上 ・（児）いじめを見たら大人に知らせたり、とめたりすることができる 80%以上 ・（保）我が子は、学校生活を楽しくしており、友人関係も良好である 95%以上 ・（教）児童の良い点や頑張っている点を積極的に認め、ほめている 90%以上	・（児）早寝早起き朝ごはんなどの規則正しい生活ができている 90%以上 ・（児）体育の授業以外に、1日30分以上、体を動かしている 90%以上 ・眼科受診率、歯科受診率 85%以上 ・（保）我が子は、友達や地域の人にあいさつしている 80%以上 ・（保）我が子は、「我が家のスマートール」を守っている 75%以上	・（児）ふるさと福井を大切にしたい 95%以上 ・（児）将来の夢やめざす目標をもっている 90%以上 ・（保）学校は地域の人材や環境を生かし、つながりを大切にしている 90%以上 ・（保）子どものことで、気軽に学校に相談できる 90%以上 ・（教）地域の人材や環境を積極的に活用している 90%以上
（業務改善に関する取組）①終了時刻の明確化による会議時間の短縮 ②業務推進日の積極的かつ適切な設定 ③タブレットを活用した会議・連絡（情報の共有） ④留守番電話の活用 ⑤文書ファイルの適正化による業務の効率化			

5年生 貴重な田植え体験 5月9日(金)

「一乗谷あさくら水の駅」の体験農園で、子どもたちは田植えを体験しました。福井市農村整備課や地元農家の皆様の丁寧なご指導のもと、子どもたちは杵回しの体験をし、その後、田んぼに付けられた目印に合わせて苗を手で植えていきました。子どもたちは、泥だらけになりながら、苗を植える大変さを実感し、食に対する感謝の気持ちをもつことができました。秋には、稲刈りの体験をする予定です。



<田植えの様子>

<田植え体験>5年児童の感想の一部

- ・田植え体験をして、いままでは、何も考えずにお米を食べていたけど、この体験を通して、農家の方が一つ一つにたくさんの時間をかけて作っていると知って、これからお米を食べるときに感しゃして食べたいと思いました。
- ・初めてくつしたのまま、やわらかい土の中に入ったので、少しびっくりして、「ぬけなくなるのかな。」とか、「けっこうやわらかいな。」など思っていました。半分より手前で、田植えってこんなに大変なんだと分かりました。

1年生 交通ルールを確認 5月12日(月)

福井警察署員のご指導のもと、交通安全教室を開催しました。子どもたちは体育館で、歩道の安全な歩き方や横断歩道の渡り方などについて学びました。また、信号機のない横断歩道での「横断アクション・ペコリン運動」についても学びました。

その後、子どもたちは外に出て、一人ずつ、児童玄関から出発しました。本校西側の横断歩道を渡り、尾上公園横の歩道を進みます。そして、尾上公園南側の信号のある横断歩道を渡り、歩道を東進します。最後に、校庭南側中程の横断歩道を渡り、校庭南側の歩道を進み、校庭の南西角を北進し、児童玄関に戻りました。子どもたちは横断歩道を渡る時に、①止まる ②手を挙げる ③見る ④ペコリン というルールを守り、いつも以上に安全を確かめながら歩いていました。また、横断歩道を渡り切ると、停止していただいた自動車の運転手に、お礼のお辞儀(ペコリン)をしていました。実際に道路を歩くことで、道路の安全な歩き方や交通ルールを再確認することができました。ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

1年生の子どもたちは、登校時には上級生に連れられて歩き、自分で判断して安全に歩く意識が低い場合が多いですが、これを機に、自分の目で安全を確かめて、よく考えて、自分の命は自分で守る行動をしてほしいと思っています。ご家庭でも、改めて、ご確認をお願いします。



<信号のある横断歩道を渡る様子>

3年生 自転車の安全な乗り方を確認 5月12日(月)



<自転車の乗り方を確認する様子>

福井警察署員のご指導のもと、自転車教室を開催しました。子どもたちは、体育館で、自転車の安全な乗り方や交通ルールについて学びました。その後、校庭がぬかるんでいたため、実際に自転車に乗って確認することはできませんでしたが、動画を視聴したり警察署員の話聴いたりして確認しました。

学年が上がるにつれて、子どもたちの行動範囲も広がっていきます。ご家庭でも、右記の「自転車の乗り方」と「ブタハシャベル」、「宝永っ子のやくそく」のご確認をお願いします。



※乗る前に点検

「ブタハシャベル」

- ⑦レーキ
- ⑧タイヤ
- ⑨ハンドル
- ⑩シヤタイ
- ⑪ペル

<自転車の乗り方>

- ①両手でブレーキをかける
- ②自転車の左から乗る
- ③右ペダルの上に足を乗せる
- ④安全確認をする(特に右後方)

両教室とも、福井警察署の皆様と地域交通安全活動推進委員 前田俊様に、ご指導いただきました。お忙しい中、ありがとうございました。

楽しもう「どんと宝永」・「宝永音頭」 5月13日(火)



<「どんと宝永」練習の様子>

本年度も全校で、「どんと宝永」の練習をしました。3年目となりましたが、宝永公民館の民謡クラブの皆様にご来校いただき、子どもたちは手解きを受けました。

そして、本年度は新たに「宝永音頭」にも挑戦しました。繰り返し練習するうちに、間違えずに踊ることができるようになりました。おかげで、宝永区民体育祭の当日、たくさんの子どもたちが「どんと宝永」と「宝永音頭」を楽しく踊ることができました。民謡クラブの皆様、誠にありがとうございました。

「宝永っ子のやくそく」 <校外生活>

- ・自転車は乗る前に点検し、きまりを守って、次の場所で安全に注意して乗りましょう。
- 必ずヘルメットをかぶりましょう。

☆1・2年…公園

☆3～6年…宝永小学校区内

(3年は、交通安全教室終了後)

※5月18日(日)の宝永区民体育祭では、子どもたちが、保護者の皆様や地域の皆様にお世話になり、ありがとうございました。子どもたちは、地域の一員としての役割を果たすことができましたでしょうか。子どもたちからは、「楽しかった。」という声が聞かれました。